

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	小学校や警察への配布は考えが及ばずでした。地域の方に支えられての施設で、もっと積極的にこちらから関りやアピールをして馴染の施設になると意識をもっていこうと思いました。	小学校に利用者さん制作の雑巾をプレゼントするのは職員が思っていた以上に意欲的に取り組まれていたので継続し、警察には離設等でお世話になることがあるかもしれないので施設の取り組みや認知症や施設に関心を持って頂ける機会にしていこうと考えます。	R3年の2月によろこび新聞が発行になるので早速配布を行います。その際、運営推進会議を実施していることも伝え参加をお願いしてみます。小学校、警察と連携し地域の様子や高齢者に関する事例など情報交換が出来ればと思います。	1ヶ月
2	6	身体拘束に関する認識が薄く偏っていたと実感しました。研修は施設内でのケアや職員の言動、服薬の減量等事例を中心に行っていましたがもっと根本的な2点柵実施時の要点や流れ、身体拘束に関する規定やマニュアルが不十分だった。	まず施設における身体拘束に関する基本方針を明確に整理して規定とマニュアルを見直し掲示する。身体拘束委員会での議題の柱を決め整理し職員が認識しやすく取り組みやすい状況を整える。他施設の取り組みも参考にしタイムリーな情報を得てつなげていく。	基本方針・規定・マニュアルの作成と掲示を行う。事例発生が予測されそうな時にはユニット会議や全体会議で課題をとりあげ全員で検討・対策する。事例発生時のフローチャートで手続き・方法・記録が適正に行えるように取り組みます。	6ヶ月
3	26	多職種との連携が口頭での聞き取りや個別の書式で行われており計画に記録や反映が不十分でした。個人の課題は職員からは毎月具体的にあげてはきているが介護計画が大雑把な内容で繋げる事ができておらずでした。	ご指摘にあった「ケアプランを見ればその人が解る、知らない人でもケアにあたる内容を」を実践できる介護計画の作成を目標にします。介護職員の視点だけではなく多職種の意見、ご家族の要望も踏まえ具体的でわかりやすく整理します。	多職種へのサービス担当者会議への参加を依頼し、不可の場合は書式での返答をお願いし曖昧にならないよう残し、ご返信頂いたプランを元に具体的に個別性のある、職員がケアにあたりやすく統一した記録に反映できるよう取り組みます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。